夏季特別展関連展示

修復完成！橋本左内の書簡集

●会 場　1階 松平家史料展示室
館蔵品ギャラリー

●会 期　令和６年７月12日（金）
～令和６年９月１日（日）

橋本左内が福井城下の常盤（ときわ）町（現福井市春山）で誕生してから、今年で190年を迎えます。当館では、これを契機に橋本左内を広く紹介する「橋本左内レガシー継承プロジェクト」を計画し、昨年はその一環として、橋本左内関連資料の修理を目的にしたクラウドファンディングを実施しました。多くの皆様からのご賛同・ご協力を得て左内ゆかりの書簡（手紙）など関連資料を修理し、さらに教育普及関連事業も実施することができました。

本展では、修理の完了した左内ゆかりの書簡を、交わした人物ごとに紹介します。そこからは、左内が幅広い地域、身分の人々と交流し、学問に、藩政改革に、政治にと精力的に活動したことがうかがえます。

【参考】橋本左内像　（当館蔵）

【橋本左内の書簡集】

当館が所蔵する橋本左内ゆかりの書簡は大きく折本（おりほん）２件と巻子（かんす）１件にまとめられています。

①景岳橋本先生書翰（しょかん）帖　２帖
橋本左内の書簡、意見書、草稿等78通を上下２段に貼り込んだもの。
嘉永５年（1852）に大坂適塾から帰国した直後の書簡から、安政３年（1856）から携わった福井藩政の改革の草案、安政の大獄により処刑される直前に記した密書など、その内容は多岐に渡ります。大部分は左内自筆ですが、一部写しも含まれます。
クラウドファンディングにより昨年修理をおこないました。

②橋本左内関連書翰帖　２帖
橋本左内宛の書簡等90通を上下２段に貼り込んだもの。大部分は安政４・５年のもので、中根雪江や本多修理ら福井藩士からの書簡を中心にした１帖と岩瀬忠震（ただなり）ら幕臣からの書簡を中心にした１帖からなります。

③橋本左内関連書翰巻子　15巻
主に安政４年から５年にかけて、福井藩内外の志士から左内に送られた書状290通を上下２段に分けて貼り込んだもの。もとは８巻からなり、平成24年から修理を行ってきました。昨年度、クラウドファンディングで３巻分の修理を行い、全巻の修理が完了しました。これまでの修理で一部の巻を複数巻に分割したため、現在は15巻からなります。

橋本左内関連書翰巻軸　その３
（福井市春嶽公記念文庫当館蔵）

以上３件の資料は、左内の弟・橋本綱常が明治21年（1888）にまとめ、綱常没後の昭和10年（1935）に橋本家から、春嶽の息子・慶民が設立した春嶽公記念文庫へ譲られました。その後、昭和45年に春嶽公記念文庫が福井市へ寄贈されたことから、左内関連の手紙をまとめた３件の資料も、福井市の所蔵となりました。

当館が所蔵する橋本左内関連の書簡の大部分は、安政４年（1857）から５年にかけてのものです。この時期、日本は開国を求めて来航した外国船への対応と 13 代将軍家定の後継者不在という内憂外患の中にありました。外国を拒絶・対決（攘夷）しようとする意見が多い中、福井藩主松平春嶽はそれは不可能として開国を支持し、困難な社会情勢を解決するためには英明な君主が必要だと考え、将軍後継者として一橋家当主徳川慶喜を擁立しました（一橋派）。しかし、将軍後継者として紀伊藩主徳川慶福が井伊直弼（彦根藩主）らに推されており（南紀派）、両派は激しく対立していました。事態を打開するため、春嶽は徳川斉昭（水戸前藩主）や山内容堂（土佐藩主）、島津斉彬（薩摩藩主）らと幕閣・諸藩・朝廷から慶喜擁立の賛同を得るため活動しました。左内は、藩校明道館の改革を担っていた安政４年にその職を解かれ、同年８月に江戸へ召された後は、春嶽の命を受けて江戸や京都で政治活動を展開しました。しかし、同５年４月に井伊直弼が大老となり、６月には徳川慶福が将軍後継者に決定（後の 14 代将軍家茂）すると、７月には春嶽が隠居急度慎に処されます。そして、左内は政治活動を問題視した幕府から訊問を受け、翌６年 10 月に処刑されました（安政の大獄）。

左内が政治活動に携わったのはわずか２年ですが、その間に多くの志士と交わした書簡からは、幕末の緊迫した社会情勢が伝わってくるとともに、左内の事績や周囲の左内評を知ることができます。

【橋本左内ゆかりの人物相関図】

松平春嶽
（福井市春嶽公記念文庫・当館蔵）

クラウドファンディング「幕末の志士・橋本左内ゆかりの手紙を修理して展示したい」（令和５年７月～９月実施）では、多くの皆様からご賛同をいただき、目標金額を大きく上回る 9,257,011 円ものご寄付を頂くことができました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

次回の展示　企画展　ほとけの姿を読み解く
令和6年9月6日（金）～10月14日（月・祝）

展示解説シート　№168　令和６年７月 12 日発行
福井市立郷土歴史博物館　〒910-0004 福井市宝永 3-12-1
電話 0776-21-0489　Fax 0776-21-1489
担当：藤原千穂　印刷 / 宮本印刷